

令和5年度行政評価 施策評価シート (令和4年度実績)  
 施策名 りんくうタウンを生かした国際化

施策コード 5010202

1. 施策の担当	
主管課	成長戦略室 おもてなし課
関係課	まちの活性化課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第1章 地域の強みを生かし、賑わいを創り出すまちづくり (活力・賑わい)	節 第2節 国際化
	施策	りんくうタウンを生かした国際化	

**基本方針**  
 ・関西国際空港の玄関都市としての好立地を生かした国際交流の拠点づくりを推進します。  
 ・アイススケートリンクを核とした、豊かな緑と賑わいあふれる公園的空間のまちづくりを推進し、官民連携による賑わいづくりの創出と活性化に努めます。

**現況と課題**  
 ・関西国際空港の玄関都市としての好立地を生かした国際的な拠点づくりが必要です。  
 ・りんくうタウンでは、多数の来訪者が憩う「公園的空間」の創出を図るとともに、訪日外国人旅行者が増加していくことを契機とした、さらなる活性化が必要です。

**施策目標**  
 対象 (誰を、何を、どこを)  
 訪日外国人観光客、国内観光客、地域事業者、施設利用者

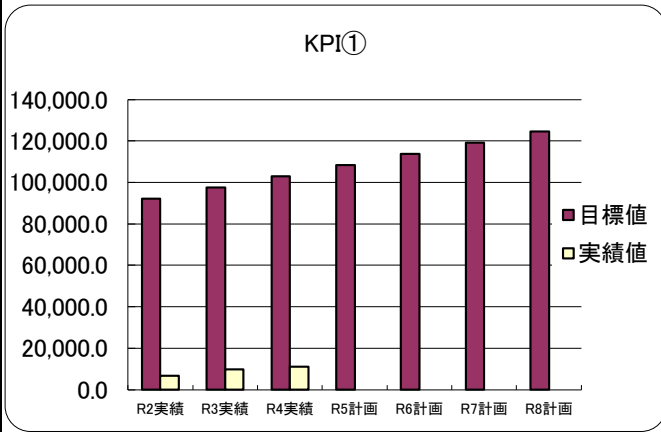
**意図 (どのような状態にしたいのか)**  
 関西国際空港の玄関都市としての好立地と国際規格のアイススケートリンクを生かし、りんくうタウンを国際的な交流の拠点とすることで都市の発展と地域の振興を図ります。

3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度 (偏差値)							
重要度 (偏差値)							

4. 施策にかかるコスト								
	単位	R3決算	R4決算					
コストの内訳	人件費	千円	0	14,339				
	事業費		226,505	636,809				
	フルコスト		226,505	651,148				
財源内訳	国庫支出金	千円	14,913	45,479				
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		101,605	160,833				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		109,987	444,836				
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		109,987	430,497				

5. 施策の重要業績成果指標 (KPI)							
① KPI 1		アイススケートリンク場の利用者数 (延べ数)					
項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5計画	R6計画	R7計画	R8計画
目標値	92,140.0	97,560.0	102,980.0	108,400.0	113,820.0	119,240.0	124,660.0
実績値	6,630.0	9,746.0	11,106.0				
達成度	7.2	9.99	10.78				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
アイスアリーナを核とした、豊かな緑と賑わいあふれる公園的空間のまちづくりを推進するため、関空アイスアリーナの利用者数を増やすことが指針となる。		他のアイスアリーナの利用者数を参考に、立地特性などを鑑みて設定した。 R5 平日1日当たり160人 (×240日) 土日祝1日当たり560人 (×125日)、R10 平日1日当たり200人 (×240日) 土日祝1日当たり700人 (×125日)			新型コロナウイルス感染症対策による休館はなかったものの、コロナ禍の影響により利用者数は微増となっている。		

図表



6. 施策の事後評価			
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 1	新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、利用者数の回復まで時間がかかる。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	市内各小学校の体験学習などを行っており、好評を得ている。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 2	新型コロナウイルス感染症の影響が非常に大きい。アイスショーなどの計画も再検討を余儀なくされている。一方、ワクチン接種が進んでいることから、新しい生活様式を取り入れた事業展開による地域活性化が期待できる。
	合計点	(10点中) 5点	
	総合評価	C	新型コロナウイルス感染症の影響が非常に大きく、回復状況によっては施策の見直しも検討する必要がある。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		C	新型コロナウイルス感染症による各種制限が緩和されたが、コロナ禍前までには回復していない。引き続き目標値達成に向けた手法の見直しを検討すること。
三次評価 (理事者による評価)		D	新型コロナウイルス感染症による各種制限が緩和されたが、コロナ禍前までには回復していない。それ以上に目標値と実績値に大きな乖離があるため、目標値達成に向けた手法の見直しを早急に検討し、利用者の増加に努めること。

7. 施策を構成する事務事業							
	予算コード	事務事業名	R4年度決算額			R5年度予算	一次評価
			人件費	事業費	一般財源		
1	01040400	国際観光産業振興事業	11,153	149,775	11,422	0	A
2	05583318	りんくう公園施設管理事業	3,186	487,034	419,075	0	B
合計			14,339	636,809	430,497	0	